

# 校歌



## 校 歌

相馬 宮原 御風  
禎次 作詞

一、太平山の凜たる勇姿  
清河旭川の淀まぬ心  
勤労の精 質実の徳  
金砂健児の指さす所  
希望の光 世界を輝らす

二、物皆凍る寒風おろし  
身を焼く炎暑何かはあらん  
剛健の意氣 不断の努力  
金砂健児の勢力見よと  
黒煙日毎 天へと沖す

三、進みて止まぬ科学の力  
我が身に体し工業界の  
未来の使命 肩にぞ担ふ  
金砂健児が御國に誓ふ  
忠誠これぞ 不滅の生命



たいへいざんのりんたるゆうしせいがあ  
さひのよどまぬこころきんろうのせい  
しつじつのとくかなさーけんじのゆびさす  
ところきぼうのひかりせかいをてらす



●秋工の校歌制定は、1926年(大正15年)12月20日。

※写真(太平山)は、赤川 均氏(S41E)よりご提供いただいたものを使用しています。